

(2) 専門研修

④ 情報教育に関する研修

※ 問合せ先

情報教育班 022-784-3560

情報教育に関する研修

情報技術や人工知能技術の進展により、子供を取り巻く環境が急激に変化し、将来の予測が困難な社会になってきています。学習指導要領(小中学校平成29年、高等学校平成30年告示)では、各学校においては、児童生徒の発達段階を考慮し、言語能力、情報活用能力(情報モラルを含む。)、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成していくことができるよう、各教科等の特性を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図ることが示されています。これらのことを踏まえ、以下の情報教育に関する研修を実施します。

研修会名	内容	教育の情報化における該当分野	主な対象者等
F1100 情報教育スキルアップ研修会		情報教育	児童生徒の情報活用能力向上に取り組む全ての教員
F1201、F1202 はじめよう！授業DX研修会		教科指導におけるICT活用	普段からICTを活用した授業を実践しており、新たな視点で授業改善を考えている教員
F1301、F1302 はじめよう！校務DX研修会		校務の情報化	普段から校務でICTを活用しており、新たな視点で校内の校務改善を考えている教職員
F1400 情報化推進リーダー研修会		全般	情報化推進リーダーまたはそれに準ずる教員(各校1名。市町村立学校:希望、県立学校:悉皆)
F1500 教育DX推進訪問支援研修会		全般	特定の分野における教育DXを推進したいと考えている学校または教育委員会

みやぎの教員に求められる資質能力(指標) ※研修計画p.1を参照	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期									
	指標資質能力	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等	指導 支え	子供	管理職等	素養 組織 育成	経営 連携
		意欲・人間性		情熱			人間		研鑽					

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外
-------	--------	-----	------	------	----

研修会 番号	F1100	情報教育スキルアップ研修会 ～ GIGAスクール構想やAI時代を踏まえた情報教育の在り方を学ぶ～	申込必要 [定員 120 名]
-----------	-------	---	--------------------

目的・ねらい	GIGAスクール構想やAI時代を踏まえた情報教育の在り方について理解を深め、教員のICT活用指導力の向上を図る。
--------	--

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							
	職種							
	校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
	実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

会場: 総合教育センター	7月16日(木)	講義・演習	生成AIで拓く教育DX(仮) 青山学院大学 教授 益川 弘如 氏
		講義・演習	デジタル技術の活用と情報モラル(仮) 信州大学 准教授 佐藤 和紀 氏
		研究協議	児童生徒の情報活用能力の向上を目指して 講師:総合教育センター指導主事
事前・事後のeラーニング		特になし	

【PR・連絡等】

午前、AIを活用した授業実践等について知見を広げるとともに、AI時代の教員に求められる資質能力について学びを深めます。午後は、目まぐるしく変化する情報化社会に対応できる児童生徒の情報活用能力について学びを深めます。また、グループワークでは、児童生徒の情報活用能力向上に向けた具体的な取組について考えます。

本研修会は、普段からICTを活用した授業を実践しており、最新の技術や社会の変化について学びたい教員を対象としています。

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期	専門研修						
	指標資質能力 ※研修計画p.1を参照	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	保育 理解	教育 支え	健・保	幼教等	指導 子供 支え	管理職等	素養 組織 連携 育成
		意欲・人間性		情熱			人間		研鑽			

希望研修

選択研修等

初任研3年目

中堅研

中堅実助

中堅養教

免外

研修会 番号	F1201(A日程) F1202(B日程)	はじめよう！授業DX研修会 ～児童生徒主体の授業にアップデート～	申込必要 [定員 各30名]
-----------	--------------------------	-------------------------------------	-------------------

目的・ねらい	GIGAスクール構想下での授業DXについて、講義等を通して理解を深めると共に、児童生徒主体の「個別最適な学び」や「協働的な学び」を実現するために必要な教員の資質能力の向上を図る。
--------	---

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

A日程(1日目)	講義	自ら学び成長する児童生徒の育成を目指して 講師:総合教育センター指導主事
6月12日(金)	実践発表	授業DXを意識した授業の実際 講師:県内教員
	講義・演習	授業DXを意識した授業づくり演習 講師:総合教育センター指導主事
	会場:	総合教育センター
B日程(1日目)	講義	自ら学び成長する児童生徒の育成を目指して 講師:総合教育センター指導主事
6月22日(月)	実践発表	授業DXを意識した授業の実際 講師:県内教員
	講義・演習	授業DXを意識した授業づくり演習 講師:総合教育センター指導主事
	会場:	総合教育センター
A・B日程共通(2日目)	講義・演習	児童生徒が主体的に学ぶ授業DXの推進 春日井市立高森台中学校 教頭 小川晋氏
11月4日(水)	研究協議	授業実践報告会～授業DXの推進～ 講師:総合教育センター指導主事
	会場:	総合教育センター
事前・事後の eラーニング	特になし	

【PR・連絡等】

1日目は、県内教員による授業DXを意識した授業の実践発表を通して、具体的な成功事例に触れ、その後の講義・演習を通じて授業づくりについて学びます。1日目の研修を受けて所属校で実践に取り組み、2日目の研修会ではその成果を共有するとともに、校内における授業DX推進について協議します。

本研修会は、普段からICTを活用した授業を実践しており、新たな視点で授業改善を考えている教員を対象としています。

※1日目の研修会後、所属校で授業実践し、2日目の研修会で報告してもらいます。

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期	専門研修							
	指標資質能力 ※研修計画p.1を参照	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等	指導 子供 支え	管理職等	素養 組織 育成	経営 連携
		意欲・人間性		情熱			人間		研鑽				

希望研修

選択研修等

初任研3年目

中堅研

中堅実助

中堅養教

免外

研修会 番号	F1301(A日程) F1302(B日程)	はじめよう！校務DX研修会 ～校務でのICT活用をアップデート～	申込必要 [定員 各35名]
-----------	--------------------------	-------------------------------------	-------------------

目的・ねらい	GIGAスクール構想下での校務DXについて、講義等を通して理解を深めると共に、クラウドを活用した校務DXに関する演習等を通して、校務DXの推進に必要な教員の資質能力の向上を図る。
--------	---

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長 実習助手	副校長 寄宿舎指導員	教頭 講師	主幹教諭 事務(事務等)	教諭 事務(指主等)	養護教諭 幼稚園教諭	栄養教諭 その他	栄養職員

【研修内容】

A日程(F1301) 6月17日(水) 会場: 総合教育センター	実践発表	校務DXの推進 講師:県内教員
	研究協議	校務DXの実現のために 講師:総合教育センター指導主事
	講義・演習	実践演習 講師:総合教育センター指導主事
B日程(F1302) 6月30日(火) 会場: 総合教育センター	実践発表	校務DXの推進 講師:県内教員
	研究協議	校務DXの実現のために 講師:総合教育センター指導主事
	講義・演習	実践演習 講師:総合教育センター指導主事
事前・事後の eラーニング	特になし	

【PR・連絡等】

<p>午前は、校務DXの実践発表や研究協議を通して、校務DXの実現のために必要なビジョンや課題解決の視点について理解を深めます。午後は、校務DXに関する実践演習を行います。</p> <p>本研修会は、普段からICTを活用しており、新たな視点で校務改善を考えている教職員を対象としています。A・B日程のうち、いずれか1日のみ参加することとなります。申込みの際はご注意ください。</p>

専門研修

みやぎの教員に求められる資質能力(指標) ※研修計画p.1を参照	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期									
	指標資質能力	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等	指導 支え	子供	管理職等	素養 組織 育成	経営 連携
		意欲・人間性		情熱			人間		研鑽					

悉皆研修及び希望研修

学校悉皆 県立学校の情報化推進リーダーまたはそれに準じる職員

研修会 番号	F1400	情報化推進リーダー研修会 ～教育の情報化の組織的な推進と、教員のICT活用指導力の向上を目指して～	別途申込 [定員 500名]
-----------	-------	--	-------------------

目的・ねらい	授業におけるICTの効果的な活用と今後の教育の情報化の方向性について理解を深め、情報化推進リーダーに必要な資質の向上を図る。
--------	--

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

6月15日(月) ～ 7月31日(金) オンライン研修	行政説明	宮城県における教育の情報化について 講師:教育庁各課室、総合教育センター
会場: 石巻専修大学	講義・演習	教育の情報化の組織的な推進と情報化推進リーダーの役割 講師:合同会社かんがえる 代表 五十嵐 晶子 氏
	講義・演習	教育DXによる授業改善と、校務改善を目指して 講師:春日井市教育委員会 教育DX推進専門官 水谷 年孝 氏、他
	実践発表	教育DXの実践について 講師:県内の情報化推進リーダー、それに準ずる教員等
	協議	教育の情報化の組織的な推進をするためには 講師:総合教育センター指導主事
事前・事後のeラーニング	特になし	

【PR・連絡等】

1日目は、オンデマンド配信による行政説明を行い、宮城県における教育の情報化についての理解を深めます。
2日目は、石巻専修大学を会場に、午前は教育の情報化と組織的な推進と情報化推進リーダーの役割について、講義・演習を通して学びます。午後は校種別に分かれて、教育DXによる授業改善と校務改善等について知見を広げます。

【対象】 ①各校の情報化推進リーダー、またはそれに準ずる教員(県立学校は「悉皆」、市町村立学校の教員は「希望」) 各学校1名
②各市町村教育委員会の情報担当者、指導主事 1名程度

参加申込については別途、通知にてお知らせします。

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期		資質成長期		資質充実期		深化発展期		専門研修		
	指標資質能力 ※研修計画p.1を参照	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等	指導 支え	子供	管理職等
		意欲・人間性		情熱		人間		研鑽		素養 組織 育成	経営 連携	

希望研修(訪問型)

研修会 番号	F1500	教育DX推進訪問支援研修会 ～学校及び教育委員会単位での教育DXの推進～	別途申込 [数校、1教育委員会]
-----------	-------	---	-----------------------

目的・ねらい	それぞれの学校や教育委員会が直面している授業や校務でのICT活用の課題解決に取り組み、教育DXの推進を図る。
--------	--

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【学校に対するPR・連絡等】

学校が直面している授業や校務でのICT活用の課題について、センター指導主事が複数回の訪問を行い、学校と共に解決していく訪問支援型の研修会です。

【対象】

(1)学校スポット支援 数校(訪問1回)

(2)学校伴走支援 数校(訪問2～3回程度)

【実施の期間】

期間 令和8年5月～令和9年2月

【内容】

対象校と協議して決定する。

例1(学校スポット支援1回訪問):オンラインによる現状分析→研修会

例2(学校伴走支援2回訪問):現状分析→校務DX検討会→オンラインによるフォローアップ

例3(学校伴走支援3回訪問):現状分析→研修会→校内研究授業と授業検討会

【申込方法】市町村教育委員会及び各県立学校に別途通知します。

【教育委員会に対するPR・連絡等】

2年間に渡り、教育委員会が直面している授業や校務でのICT活用の課題について、センター指導主事が複数回の訪問を行い、教育委員会と共に解決していく訪問支援型の研修会です。

【対象】

市町村教育委員会 1委員会(令和8～9年度実施)

【実施の期間】

期間 ・令和8年5月～令和9年2月(長期休業期間も可能)

・令和9年5月～令和10年2月(長期休業期間も可能)

回数 3～4回/年

【内容】

委員会と協議して決定する。

例1:課題の現状分析を通して、目標設定を行い、必要となる研修会等を実施する。

例2:課題の現状分析を通して、情報化推進リーダーによるコミュニティ形成や教育委員会としてのビジョンの作成を行う。

【申込方法】市町村教育委員会に別途通知します。